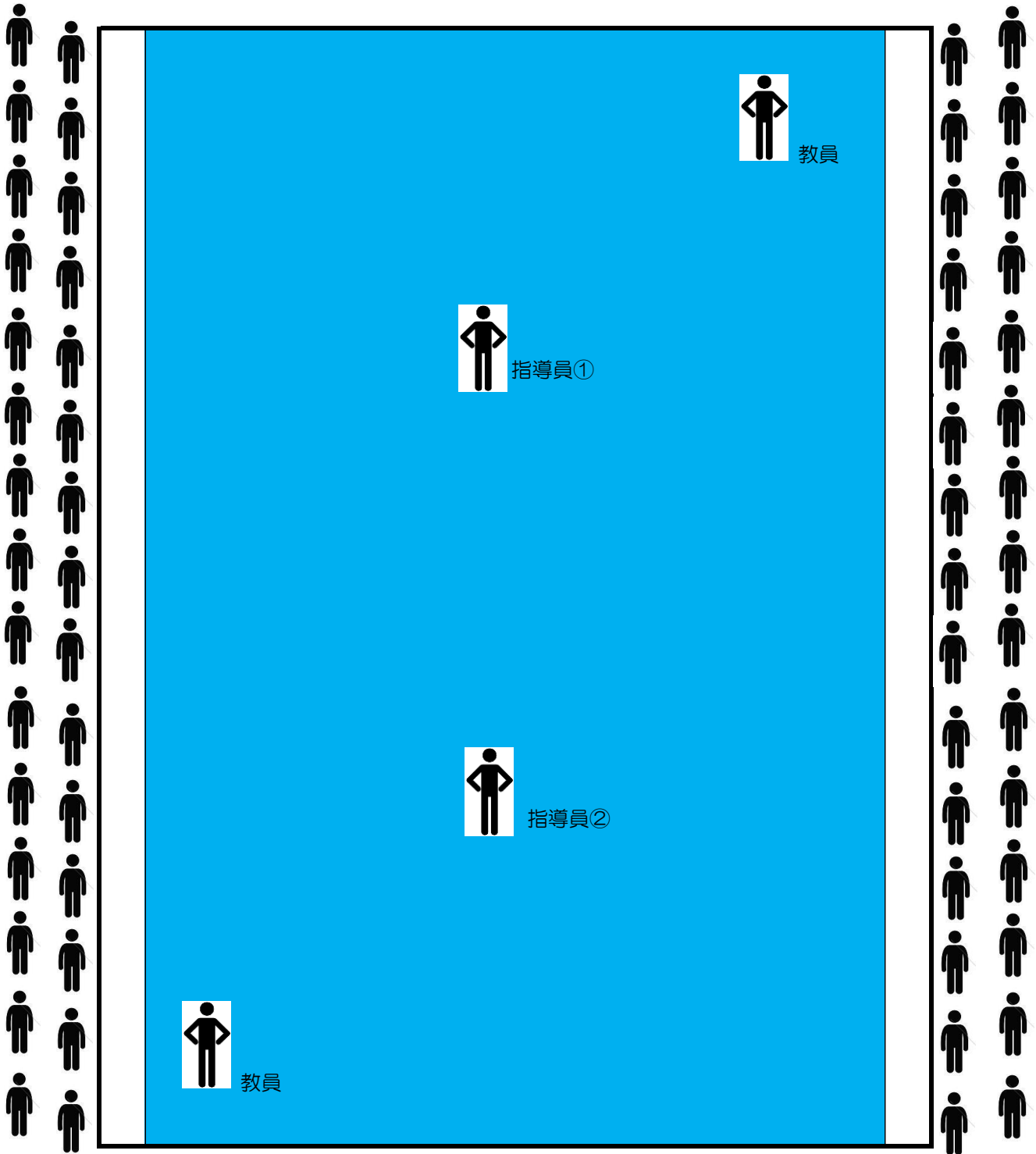


学校内の児童に対する着衣泳指導のイメージ図



- ・受講者（児童・生徒）はすでに水着の上に衣類を着てシャワーを浴びた状態。
- ・プールサイドに受講者を配置。（私語は慎む）
- ・内容は、入水→水慣れ→浮き方（あおむけ浮き）
→浮き具（ペットボトル）を使用
- ・1回あたりのプール内に入る受講者数 最大40人まで
※1人あたり2m四方のスペースで計算
ただし、学年の人数によっては、学校側で受講者数を調整する。
- ・安全管理として学校の教員が監視を行う。